

薬用作物産地支援 栽培技術研修 東北会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 角館交流センター(秋田県仙北市角館町中菅沢77-30)第一研修室

実施時期： 11月12日(木)～13日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
11月12日 (木)	13:20- 13:35 (15分)	13:10現地集合 場所:角館駅前(JR東日 本) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:40- 15:10 (90分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「仙北市薬草生産組合」シャクヤク圃場における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:15- 15:30 (15分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	15:40- 16:40 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	山口 能宏	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
11月13日 (金)	9:00-10:30 (90分)	[講義] 薬用作物の栽培にあたって(仮題)	地域の生産者から要望の高い栽培技術について解説する(シャクヤク、トウキ等)。	柴田 敏郎	前・国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研 究所薬用植物資源研究 センター 客員研究員
	10:40- 12:10 (90分)	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み(仮題)	薬用作物生産の低コスト化や安定化等を可能とする技術開発を目的とした標記プロジェクトの概要、ならびに地域におけるこれまでの取り組み成果について解説する。	久保 堅司 横井 直人	農研機構東北農業研究 センター 農業放射線 研究センター 畑作移行 低減グループ 上級研 究員 秋田県農業試験場野 菜・花き部 主任研究員
	12:10- 13:10	昼 食			
	13:10- 14:40 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地 形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	